

そしてこれからのCS委員会は？

コミュニティ・スクール委員会として、これから子どもたちのために何ができるか、今年度の三鷹中央学園長の第三小学校校長小坂和弘先生と、大和田妙司コミュニティ・スクール委員長にお話をうかがいました。



小中学校時代は、
どんなお子さんでしたか？

小坂



友だちからよく相談され頼られる子でした。小学校でサッカーと合唱、中学校で水泳部と科学クラブに没頭していました。

CS委員会に関わってみ
てどう思いましたか？

小坂



頼りになる存在だと心強く感じています。学校を支援してくれるだけでなく、学校の先生、保護者、地域の皆さんが知恵を出し合い、ともに学校の教育活動をさらによくしていこうという、よきパートナーであると思います。

大和田



CS広報誌で「中1ギャップがなくなる！」というページを作成したことがあります。調査を元にしたものですが、実感としてもありました。地域の子どもたちが落ち着いて学べる環境作りに関われることは喜びです。

三鷹中央学園のアピールを
お願いします

小坂



人の輪のつながりは学園の大きな財産です。これまでの伝統を守りつつ、「未来は今、ここにある。」を合言葉に、皆で力を合わせ、スクール・コミュニティの充実に向け、日々小中一貫教育校として歩んでいきます。

大和田



「防災教育の」「学習ボランティアの」三鷹中央学園。市内の他の学園や他都市の教育関係者の方々から、このように評され賞賛されます。まだまだ進化します！

学園の子どもたちへ
メッセージをお願いします

大和田



まわりの人々に守られ支えられていることを、いつも忘れないでいてください。「ありがとう」の気持ちを忘れない人は、大きく伸びていきます。

小坂



今、できることをよく考え、この「ふるさと三鷹」を大切に、よりよい街にしていくことのできる人になってほしいと思います。そして、「ふるさと三鷹」の子としての誇りをもって、広く世界に羽ばたき、活躍してくれることを期待しています。



「地域と学園をつなぎ、みんなで一緒に子どもたちを育てよう」

思いがけずコロナウイルスに見舞われた今年、4月からは緊急事態宣言が出され、休校のため生徒・児童は自宅だけの生活を余儀なくされました。こんな時だからこそ地域の皆さま一人一人のご理解とご協力がより必要となります。子どもたちの健全な育成のために、地域全体で温かく見守って行きましょう。

